



鹿児島県立奄美少年自然の家

Kagoshima Prefectural Amami Shonen Nature House

令和6年度

利用の手引き



希望 友愛 躍動

[住所] 〒894-0043

鹿児島県奄美市名瀬朝仁字赤崎 1096-2

[電話] (0997) 53-1032

[FAX] (0997) 53-1033

[URL] <http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/amami/index.html>

[メール] amasyou@pref.kagoshima.lg.jp



ホームページ



Instagram

目 次

I	奄美少年自然の家の概要	1
1	施設の紹介	
2	基本理念	
3	所旗	
4	利用できる団体など	
II	利用にあたって	
1	利用までの流れ	2
2	経費	3
3	入所から退所まで	4
III	研修活動について	
1	生活時間（標準時間）	11
2	準備品	
3	活動を通して育てたい力	12
4	施設状況及び施設紹介	13
IV	巻末資料	
・	日程計画書（記入例）	17
・	使用許可申請書（第1号様式）（記入例）	18
・	使用許可書（第2号様式）※記入不要	19
・	使用料免除（減額）申請書（第3号様式）（記入例）	20
・	利用者名簿（記入例）	21
・	食物アレルギー調査票（記入例）	22
・	野外炊さん班編成及び各系の活動内容（記入例）	23
・	各種つどいの係名簿	24
・	講師依頼書（記入例）	25
・	使用規定	26
・	利用案内	27
・	交通案内	28

I 奄美少年自然の家の概要

1 施設の紹介

奄美少年自然の家は、奄美市名瀬の市街地から北西へ4 km、標高 150mの赤崎台地に位置しています。

昭和 54 年 6 月に開所し、今年で 45 周年を迎え、管理棟、宿泊棟、体育館、天体観察研修棟、創作のやかた、キャンプ場、アスレチック施設、海洋・海浜研修場を備え、様々な体験活動を推進しています。

当所は、大島地区唯一の青少年社会教育施設として、海洋・海浜研修を中心に天体観察、野外研修を一層充実させ、たくましく心豊かに生き抜く気概のある青少年の育成を図るとともに、生涯学習の拠点施設に対応したプログラムの開発、事業の充実に努めています。



2 基本理念

希望 友愛 躍動

3 所旗

所旗の青色は、青少年の若さと青雲の志を象徴し、中央の人文字は、カタカナの「アマミ」の「ア」の字を図案化したものであり、躍動する青少年の姿を表しています。また、丸い輪は、親和・協力・友愛を表現したものです。



[昭和 54 年 6 月制定]

4 利用できる団体など

研修計画をもつ、次のような団体

- (1) 保育園、幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校、各種学校、大学等
- (2) 子ども会等少年団体、PTA、青年団、女性団体、高齢者クラブ等
- (3) 女性学級、成人学級、家庭教育学級、高齢者大学等
- (4) 家族、同好会、グループ、官公署、企業等
- (5) その他特に必要と認めた団体

※ 旅行時の宿泊など、研修以外の目的の利用はできません。

(6) 休所日

- 毎月第 1 火曜日及び第 3 日曜日(団体の利用状況により変更することもあります。)
- 1 月 1 日から 3 日まで及び 12 月 29 日から 12 月 31 日まで
- その他臨時に休所する日

(7) 収容人数

- 宿泊棟 … 184 人
- キャンプ場 … 68 人(一テント 4 人収容)

II 利用にあたって

1 利用までの流れ

計画の立案と申請書類の作成・手続き

ア 目標の設定

- 研修を通して身に付けさせたい力を踏まえ、設定します。
- 必要に応じて、施設見学や事前研修を行うことができます。

イ 利用期日の予約・確認等

- 電話・メール・来所等で次の内容をお知らせください。
 団体名 利用期日 人数 主な活動内容 代表者名 連絡先
※ 宿泊の場合は男女の人数もお知らせください。

ウ 日程計画書(原案)の作成と提出

〔御利用 30 日前まで〕

〔提出物〕 日程計画書(原案) ※ 複数校合同実施の場合は、担当校のみ提出してください。

- ゆとりをもった研修計画を作成してください。
- 緊急時に備えて、連絡の体制・方法の確認をお願いします。
- 屋外の活動は、雨天・荒天時の代替プログラムも計画してください。
- キャンプファイヤー・灯のつどいは第2部「交歓のつどい」の準備をしてください。
- 海洋・海浜活動は朝仁海岸での活動です。徒歩での移動に片道40分程度かかります。

※ 潮汐の状態も考慮してください。(詳細については、当所へ御相談ください)

エ 事前打合せ(メールや電話等で行います)

- 必要に応じて、日程計画書の修正をお願いします。
- 同日利用の団体と合同で研修を行う場合の役割分担を提案します。

オ 使用許可申請書等の作成と提出

〔御利用 15 日前まで〕

〔提出物〕 日程計画書(決定版)

- エの事前打合せ等で日程を変更した場合提出してください。

- 使用許可申請書(1号様式)
- 使用料免除(減額)申請書(3号様式)
- 利用者名簿
- 食物アレルギー調査票
- 野外炊さん班編制表

一つのデータファイルになっています。

- 複数校合同実施の場合は、学校ごとに提出してください。
- 使用許可書(2号様式)については、記入の必要はありません。

カ 使用許可書・納入通知書等の送付

- 当所より使用許可書を送付いたしますので、御確認ください。
- 使用料の納入が必要な団体へは当所から納入通知書を送付します。

キ 使用料の納入

〔御利用 前日まで〕

- 裏面に記載された金融機関等から納入してください。
- 確認のため入所時に「納入通知書兼領収書」を御提示ください。

ク 御利用当日

- お気をつけて来所してください。

2 経費

(1) 使用料

原則無料です。ただし、次の場合は下記の使用料が必要です。

- ア 営利を目的とする法人もしくは個人又これらを構成する団体が主催する研修に参加する者
- イ 18歳以上の者(高等学校に在籍する者及び当所が主催する研修に参加する者を除く。)

区 分	使用料		支払い方法
	単位	金額	
研修施設（1研修）	1研修につき一人	210円	納付書による 事前振込み
宿泊棟（1泊）	一人1泊	1,120円	
キャンプ場（1泊）	一人1泊	350円	

※ 利用前に金融機関で納入が必要です。

(2) 使用料の減免

上記にかかわらず、次の利用の場合は、施設使用料は免除（または減額）になります。

- ア 障害者基本法に規定する障害者及びその介護者
- イ 県内に設置されている小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校が主催する研修の引率者
- ウ 県が主催する事業に参加する者
- エ 県内に設置されている幼稚園、保育園(所)、認定こども園の主催する研修（運動会、お泊まり保育、遠足等）の引率者

(3) シーツ等クリーニング代

区 分	内 容	金 額	支払い方法
宿泊棟泊	シーツ(2枚), 枕カバー(1枚)	200円	事務室に直接支払
テント泊	シーツ(2枚)	150円	

(4) 食事代

区 分	朝 食	昼 食	夕 食	合 計	支払い方法
小学生	500円	690円	790円	1,980円	食堂に直接支払
中学生以上	500円	700円	800円	2,000円	
特別メニュー	550円	700円	1,100円	2,350円	
備 考	○麦茶の提供ができます。(300円/15Lキーパー一つ) ○野外炊さんの材料代は食事代と同額です。(食材持込不可)				

(5) 研修活動等の材料費

区 分	金 額	支払い方法
野外炊さん及びキャンプファイヤー薪代	10円	事務室に直接支払
灯のつどいろうそく代		

※ 創作活動の材料費については、「活動プログラム集」を参照してください。

(6) その他

当所利用時に施設設備及び備品等を破損した場合、その補修等にかかる費用全額を弁償していただきます。

3 入所から退所まで

(1) 活動の流れ

入所前

- 入所予定時刻より早まる、または遅れる場合は御連絡ください。
- 入所日前日までに、各団体で作成した「しおり（目的や日程、研修生の部屋割り等の詳細が分かるもの）」を2部メール等で御提出ください。
- 人数が変更になった場合や食数が変更になった場合は必ず当所へ御連絡ください。

入所・入所時打合せ

- 車は所内駐車場に駐車してください。
- バスは正面ロータリーを御利用ください。
- 団体の連絡責任者は、当所の団体担当者と入所時打合せを行います。
- 連絡者責任者以外は、研修生を引率して、研修始めの式に備えます。

研修はじめの式(20分程度) オリエンテーション (40分程度)

〔式順〕

- 1 はじめのことば
- 2 団体代表あいさつ（引率代表・研修生代表）
- 3 自然の家から（所長あいさつ）
- 4 おわりのことば

- 進行は、利用団体がを行います。
- 成人団体の場合、「2 団体代表あいさつ」は、代表者のみです。
- 研修はじめの式の後、施設の概要、生活の仕方などについて、当所職員がオリエンテーションをします。

団体代表者打合せ（午後4時30分から）

- 夕食と朝食や入浴の時間、夜の活動や翌朝の活動、支払の時間等についての確認を行います。

夕べのつどい（午後5時から、係は午後4時45分集合）晴天時：つどいの広場、雨天時：体育館

〔会順〕

- 1 はじめのことば
- 2 夕べのあいさつ
- 3 国旗・県シンボルマーク旗・所旗の降納
- 4 本日の振り返り（研修生）
- 5 自然の家から
- 6 おわりのことば

- 進行は利用団体がを行います。
- 進行と旗係はリハーサルを行います。
- 研修生は、5分前に整列を完了します。
- 午後に野外炊さんを実施する団体は、活動中のため参加しません。

食事・荷物の移動

- 食事の前後等で、荷物を宿泊室へ移動させます。

食堂の利用

- 当所が定めた時間内に食事をします。（朝食30分間、昼食・夕食40分間）
- 食事の受取りや後始末は各自で行います。（セルフサービス）
 - ※ 不特定多数の方が用具に触れないために御飯と汁物は原則引率者が注ぎ分けてください。
 - ※ 除去食・代替食は、食堂職員、団体引率者、当所職員立会いのもと、受け取ってください。
- 奥から詰めて席に着き、食事をします。
- 食器や残食は、決められたところに片付け、ふきんでテーブルを拭きます。
- 食器の破損は、実費負担していただきます。

入浴 (30分程度)

- 当所が定めた時間内に入浴してください。(引率者の入浴時間も含まれます。)

〔入浴前〕

- 石けん・シャンプー・タオル等は、個人又は団体で御用意ください。

〔入浴中〕

- 体をよく洗ってから浴槽に入ってください。
- 入浴のマナーを守ってください。(浴場でふざけない、走らない等)
- 洗面器・腰掛は、使用后元の位置に戻してください。

〔入浴後〕

- 体をよく拭いてから脱衣所に上がってください。
 - 団体が使用した後は、忘れ物がないか確認し、使用前の状態に戻してください。
 - 最後に使用した団体は、当所職員に使用終了の報告をしてください。
 - ドライヤーはありませんので御持参ください。
- ※ 使用する場合は、宿泊棟各階洗面所のコンセント (1か所) のみを使ってください。

シーツの受け取り

※入浴や食事の前後、就寝準備時等打合せの際に設定した時間帯に行ってください。

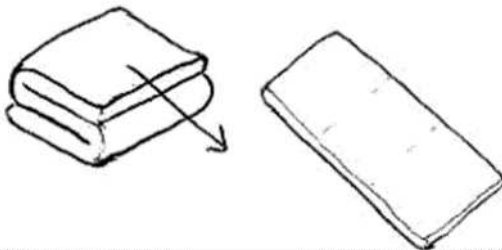
- 入所時確認した時間に、リネン室前から部屋の人数分引率者が、保健係に渡してください。
- ※ 宿泊棟泊時はシーツ (一人2枚)、枕カバー (一人1枚) です。
- ※ テント泊時はシーツ (一人2枚) のみです。

ベッドメイキング

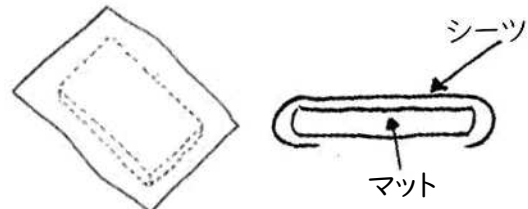
- 引率者による確認をお願いします。
- ※ 寝具の汚損・破損があった場合、別途クリーニング代等をいただくことがあります。

《ベッドメイキングの仕方》

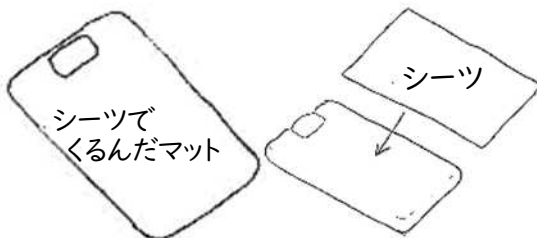
- 1 マットを敷きます。



- 2 マットの上にシーツをかぶせ、はしを折り曲げてマットを包みます。



- 3 その上にシーツをもう1枚重ねます。



- 4 シーツの上に毛布を重ね、頭の部分のシーツを折り返してえりカバーとします。



消灯・就寝 (午後10時)

- 健康観察を行い、午後10時に消灯・就寝します。
- トイレに行くときは、ドアの開閉や履き物の音に留意するなど、利用者相互に配慮してください。

起床 (午前6時)

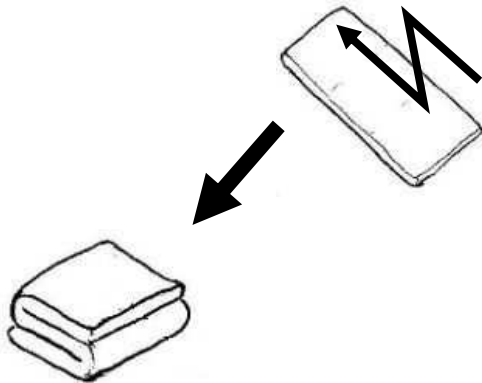
- 放送で起床のお知らせをします。
- 身支度や道具の片付け、寝具の後始末をします。

寝具の片付け・シーツの返納 ※退所日の起床後から、部屋点検までの間に行ってください。

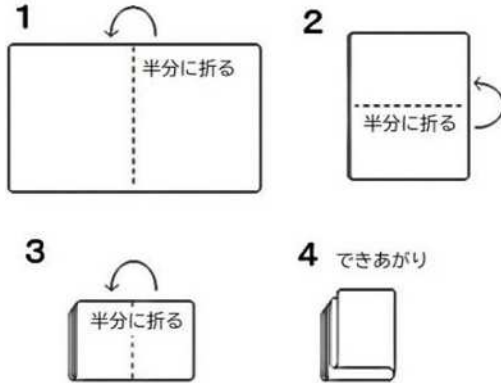
- 引率者による確認をお願いします。
- ※ 寝具の汚損・破損があった場合、別途クリーニング代等をいただくことがあります。

《寝具のたたみ方》

- マットレスは三つ折りにします。



- 毛布は長い辺を3回折ります。



- シーツは長い辺を4回折り、枕カバーは2つ折りにします。
- シーツと枕カバーを分けてリネン室前に返します。
- 引率者は、数がそろっているか、必ず確認してください。

《寝具の置き方》

- 三つ折りにしたマットの上に毛布を重ね、その上に、枕を置きます。
- ※ 折り目が通路側から見えるように置きます。



朝のつどい (午前7時から、係は午前6時45分集合) 晴天時：つどいの広場、雨天時：体育館

〔会 順〕

- 1 はじめのことば
- 2 朝のあいさつ
- 3 国旗・県のシンボルマーク旗・所旗の掲揚
- 4 ラジオ体操
- 5 団体紹介
- 6 自然の家から
- 7 おわりのことば

- 進行は利用団体が行います。
- 進行と旗係はリハーサルを行います。
- 研修生は、5分前に整列を完了します。
- 「5 団体紹介」は、複数団体入所の場合に行います。

清掃ボランティア

- 朝のつどい終了後に行います。
- 宿泊室、廊下のちりやほこりを掃き、ごみ箱に入れます。
※ 清掃用具は打合せの際に確認をしてください。
- 研修室は床を掃いたり、机をふいたり、机やいすを並べたりします。
- 屋外は落ち葉を掃いたり、除草したりします。
- 退所日に、各部屋のごみ箱のごみを、廊下の大きなごみ箱に移します。

朝食・荷物の移動

- 朝食の前後等で、寝具の片付け前に、荷物を指定された部屋等へ移動させます。宿泊室の荷物を出して、寝具の片付けをしやすくします。

団体代表者打合せ（午前8時45分から）

- 当日の研修内容や日程、研修生の健康状況、支払い等についての確認を行います。

部屋の点検・退所準備・研修カード記入

- 団体代表者は、整理点検表を元に各部屋の班長と一緒に点検前の確認を行います。
※ 確認が終わったら、当所職員をお呼びください。
- 各部屋の班長と団体代表者、当所職員の三者で部屋点検をします。
- 部屋の鍵を借りた場合は、まとめて事務室に返却してください。
- 団体に持ち込んだごみは、必ず持ち帰ってください。

自己評価・感想記入

- 心に残ったことや感じたこと、反省などを記入してください。

経費の納入（退所する日に行います）

- 引率者と研修生で別々の領収書が必要な場合は、必ず入所時にお申し出ください。
- 「2 経費（P3）」を参照の上、納入してください。
- 食器や施設内の物品等を破損・汚損した場合、別途費用がかかります。
- 納入は、事務室、食堂ともに、原則午前9時以降の午前中です。
※ 前日の団体代表者打合せの際に御確認ください。

研修おわりの式（15分程度）

〔式順〕

- 1 はじめのことば
- 2 団体代表あいさつ（引率代表・研修生代表）
- 3 自然の家から
- 4 おわりのことば

- 進行は、利用団体が行います。
- 成人団体の場合、「2 団体代表あいさつ」は、代表者のみです。

退所

- バスは正面ロータリーを御利用ください。
- お気をつけてお帰りください。

(2) 団体代表打合せ会

連絡責任者は、当所職員と次の内容等について打合せを行います。打合せた内容は、団体に共有し、共通理解のもと活動に取り組んでください。

時間	場所	内容	
入所時	研修棟 玄関 ロビー	提出物 及び 提示物	○ しおり (未提出の団体) ○ 使用許可書 (事前に当所より送付) ○ 納入通知書兼領収書 (事前納入した団体)
		配布物	○ 入所時団体打合せカード ○ 研修団体カード・感想文 ○ 整理点検表 ○ 防災・避難に関する確認事項
		確認事項	○ 研修生の人数と食数, 健康状況 ○ 研修始めの式・オリエンテーション・宿舎割当 ○ 支払い・退所前の点検や提出物
午後4時30分	研修棟 玄関 ロビー 又は 研修室	確認事項	○ 研修生の健康状況 ○ タベのつどい・夕食・入浴・夜の活動 ○ 朝のつどい・朝食・退所の際の荷物の移動など
午前8時45分		提出物	○ 研修団体カード・感想文
			確認事項

(3) 役割分担 (例)

研修活動を円滑に進めるために、役割分担を決めてください。

係名	仕事の内容
班 長 (1人)	・ 生活や活動内容などの確認。 ・ 活動時の人員点呼と引率者への連絡。
保健係 (1～2人)	・ 体調不良者の引率者への連絡。 ・ シーツや枕カバーの受け取りと返納。
食事係 (1～2人)	・ 食後の、テーブルやいすの整理。 ・ 野外炊さん活動時の係の確認。
活動係 (1～2人)	・ 活動場所・時間等の連絡 ・ 研修活動に必要な材料や用具の準備や後始末。
レクリエーション係 (1～2人)	・ レクリエーションの準備, 進行, 後始末。

※ グループの人数が4人以下の場合は、一人で二つの係を担当するなど工夫してください。

(4) 清掃分担

係名	清掃場所	清掃内容
班 長	宿泊棟部屋	整理整頓, 床清掃, ゴミ処理
保健係	管理棟 (廊下・玄関)	床清掃, ゴミ処理, ロビー遊具整理整頓
食事係	宿泊棟 (廊下・階段・ロビー)	整理整頓, 床清掃
活動係	研修室・創作のやかた	机・椅子整頓, 床清掃, ゴミ処理
レク係	体育館/屋外 (畑等)	床清掃, 倉庫内整理整頓/落ち葉清掃, 畑除草

(5) 緊急時の連絡と近隣病院一覧

- ア けが, 急病, 事故等が発生した場合は, ただちに事務室に連絡してください。
病院への連絡・搬送などについては, 団体側で対応してください。

奄美少年自然の家事務室 電話: 0997-53-1032

イ 近隣病院一覧

(ア) 総合病院

県立大島病院	(0997)52-3611	奄美市名瀬真名津町 18-1
内科, 小児科, 外科, 整形外科, 皮膚科, 眼科, 耳鼻咽喉科 他		
名瀬徳州会病院	(0997)54-2222	奄美市名瀬朝日町 28-1
内科, 消化器内科, 整形外科, 外科, 婦人科, 耳鼻咽喉科, 眼科, 形成外科 他		

(イ) 病院医院一覧

奄美中央病院	(0997)52-6565	奄美市名瀬長浜町 16-5
内科, 小児科, 循環器科, 呼吸器内科, 消化器内科, 腎臓内科, 糖尿病内科		
つばたクリニック	(0997)57-7771	奄美市名瀬久里町 9-2
整形外科, 内科, リウマチ科, リハビリ科		

(6) 保健衛生及び健康安全対策

ア 健康観察

- 団体打合せ会で研修生及び引率者の健康状況の確認を行います。

イ 食事 ※ 一部再掲

- ご飯と汁物は, 食べ物に多くの人がかぶれないように, 原則引率者が注ぎ分けてください。
- 配膳が済んだ研修生から順に食べ始めて, 食べ終わった順に片付けさせてください。
- 除去食・代替食は, 食堂職員, 団体引率者, 当所職員立会いのもと, 受け取ってください。

(7) 食数変更及び食事のキャンセルについて

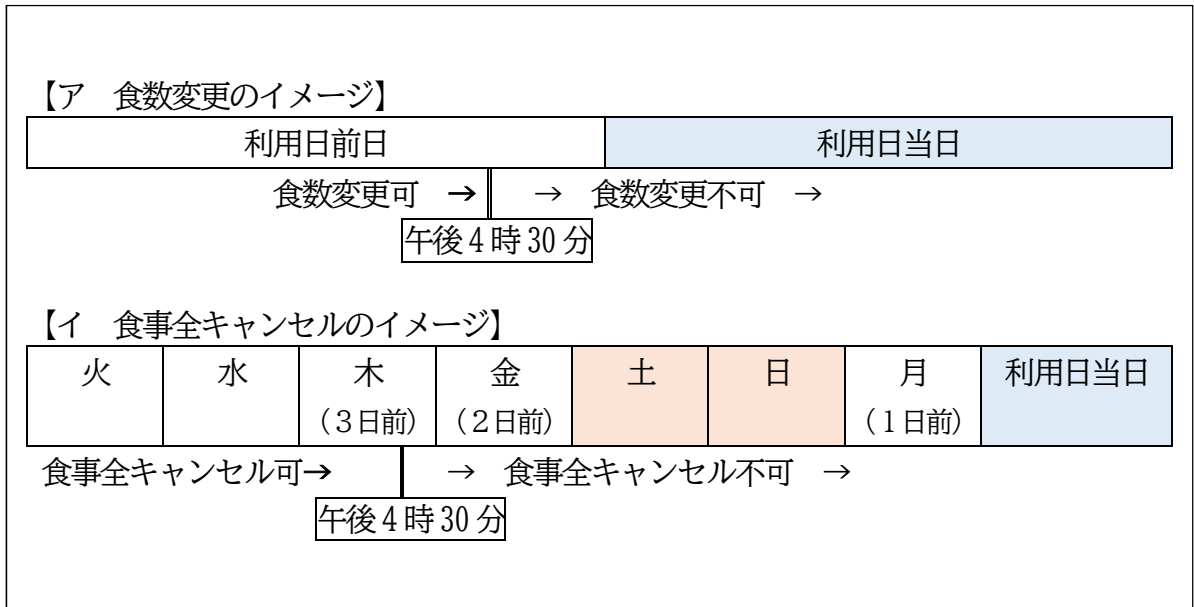
ア 食数変更（増減）の連絡について

- 食事数増減の変更は、利用前日の午後4時30分までに御連絡ください。
- 食数減については、利用前日の午後4時30分までの連絡で、食事代は発生しません。

イ 利用団体の都合による食事の全キャンセルについて

- 土日祝日を除いた、利用日の3日前の午後4時30分までに御連絡ください。
- 上記以降は、全額を利用者が負担することになります。

※ 台風等の自然災害によるキャンセルについては別途対応します。



(8) その他

当所は青少年社会教育施設です。利用にあたっては、マナーを守り、利用者が互いに気持ちよく過ごせるようにしてください。特に、次のことに留意してください。

ア 飲食物の持ち込み及び、宿泊室内での飲食は原則できません。

イ 飲酒は禁止です。

ウ 施設内は、完全禁煙です。喫煙される方は、指定された場所で喫煙してください。

エ 各部屋のベランダ、体育館のギャラリーは転落防止のため、立ち入りを禁止しています。

Ⅲ 研修活動について

1 生活時間（標準時間）

時間	日課	備考
6:00 ~	起床・洗面・寝具整理等	
7:00 ~ 7:20	朝のつどい	進行と旗係は6:45からリハーサル
7:20 ~ 7:40	清掃ボランティア	
7:20 ~ 9:00	朝食(宿泊室点検※退所日)	設定時間内(30分間)に食事 団体代表打合せ会(8:45~)
9:20 ~ 10:30	活動 1	70分間
10:50 ~ 12:00	活動 2	70分間
12:00 ~ 13:30	昼食	設定時間内(40分間)に食事
13:30 ~ 14:40	活動 3	70分間
15:00 ~ 16:10	活動 4	70分間
16:10 ~ 17:00	自由交歓・入浴 1	団体代表打合せ会(16:30~)
17:00 ~ 17:20	夕べのつどい	進行と旗係は16:45からリハーサル
17:30 ~ 19:30	夕食	設定時間内(40分間)に食事
17:30 ~ 21:30	入浴 2	設定時間内(30分間)に入浴
19:00 ~ 21:00	活動 5	60分間で設定
21:30 ~ 22:00	就寝準備	
22:00	消灯・就寝	

- 食事や入浴は、引率者の指導のもと、団体毎の設定時間内に済ませてください。
- チャイムはありません。各自で時間を確認して行動してください。
- 清掃ボランティアの場所等については、団体打合せ時に確認します。

2 準備品

※ 持ち物すべてに団体名(学校名)、氏名を記入するよう御指導ください。

(1) 研修全体

- 体育館シューズ(室内履き) 着替え 帽子 軍手 タオル 水筒
- 入浴・洗面道具 筆記用具 雨具 虫よけスプレー 救急セット(団体) 等

(2) テント泊

- 懐中電灯 等

(3) 海洋・海浜活動

- リュックサック 水着 活動用の靴(マリンシューズ等) ※サンダル不可
- 濡れてもよい服 水筒 軍手 帽子
- ゴーグルやシュノーケル(熱帯魚ウォッチング、海遊びなど) 等

3 活動を通して育てたい力

活動領域	育てたい力 プログラム	問題解決能力	課題発見能力	科学的な思考	思考力・想像力	判断力	表現力	コミュニケーション能力	知識・技能	体力	主体性	協調性	感謝する心	生命尊重	郷土を愛する心	ボランティア精神	活動プログラム集ページ
1 野外活動																	
	(1) テント設営・撤収	◎			○	○		◎	○		○	◎	○				2
	(2) 野外炊さん(カレー, 豚汁等)	◎	○	○	○	○		◎	◎		○	◎	○	○			3
	(3) キャンプファイヤー				○	○	○	◎			○	◎	◎	○	○		4
	(4) 自然散策				○				○	○	○		○	◎	◎		5
	(5) クイズウォークラリー	◎			◎	○		○	○	◎	◎	◎	○		◎		6
	(6) 赤崎ハイキング				○					○	○			◎	◎		7
	(7) オリエンテーリング	◎			◎	○		○	○	◎	◎	◎	○				8
	(8) 自転車モトクロス		○	○	○	○			○	◎	○						9
	(9) 環境ボランティア	○	○			○				○	○	○	○	○	◎	◎	10
	(10) ナイトウォーク&ゲーム	○		○	◎	○	◎		◎					◎	◎		11
2 海洋・海浜活動																	
	(1) いかだ活動		○	○	○	○		◎	○	◎	○	◎	○		◎		15
	(2) カヌー・SUP		○	○	○	○			○	◎	◎				◎		16
	(3) カッター				○	○			○	◎	○			○	◎		17
	(4) 海遊び(水に親しむ活動)		○	○	○	○		◎	○	◎	○	◎	○		◎		18
	(5) 熱帯魚ウオッチング		○	○	○	○		○	○	◎	○	○			◎		19
3 スポーツ																	
	(1) グラウンドゴルフ	○	○		○	○		○	○	○	◎	○					22
	(2) パターゴルフ	○	○		○	○		○	○	○	◎	○					23
	(3) ターゲットバードゴルフ	○	○		○	○		○	○	○	◎	○					24
	(4) ペタンク	○	○		○	○		○	○	○	◎	○					25
	(5) ソフトバレーボール	○	○		○	○		◎	○	◎	○	◎	○				26
	(6) インディアカ	○	○		○	○		◎	○	◎	○	◎	○				27
	(7) スポレック	○	○		○	○		◎	○	◎	○	◎	○				28
	(8) ピロポロ	○	○		○	○		◎	○	◎	○	◎	○				29
	(9) キンボールスポーツ	○	○		○	○		◎	○	◎	○	◎	○				30
	(10) ボッチャ	○	○		◎	◎	◎	○	◎		◎	○					31
	(11) 卓球・バドミントン	○	○		○	○	○	◎	◎	◎	○	◎	○				32
4 天体に関する活動																	
	(1) 天体観察			◎	○	○	○	○	○								33
	(2) 太陽観察			◎	○	○	○	○	○								34
	(3) 星の話			◎	○	○	○	○	○								35
5 創作活動																	
	(1) プラホビー	○	○	○	◎		◎		○		○						36
	(2) サンドアート	○	○		◎		◎		○		○				○		37
	(3) サンゴクラフト	○	○		◎		◎		○		○				○		38
	(4) Seaストラップ	○	○		◎		◎		○		○						39
	(5) 木エペンダント	○	○		◎		◎		○		○						40
	(6) 焼き板	○	○		◎		◎		○		○						41
	(7) フォトフレーム	○	○		◎		◎		○		○				○		42
	(8) 壁掛け	○	○		◎		◎		○		○				○		43
	(9) 七宝焼	○	○	○	◎		◎		○		○						44
	(10) 藍染	○	○	○	◎		◎		○		○		○				45
	(11) 紬クラフト	○	○		◎		◎		○		○			○	◎		46
	(12) なりキーホルダー	○	○		◎		◎		○		○				◎		47
	(13) ジェルアート	○	○	○	◎		◎		○		○				○		48
	(14) 折り染めうちわ	○	○		◎		◎		○		○						49
	(15) 折り染めバッグ	○	○		◎		◎		○		○						50
6 室内活動																	
	(1) レクリエーション				○	○	○	◎		○	○	◎	○				51
	(2) 灯のつどい				○	○	○	◎			○	◎	◎	○			52
	(3) ドミノ倒し	○			◎	○		○	○		○	○	○				53
	(4) 室内フィールドビンゴ	◎			◎	○		○	○	◎	◎	◎	○				54
	(5) クリエイティブゲーム	◎			◎	○		◎	○		○	◎	○				55

4 施設状況及び施設紹介

(1) 施設状況

ア 屋内研修施設等

施設名	収容人数	用途	備考
第1研修室	45人	創作活動・研修会等	長机(15), いす(45)
第2研修室	84人	創作活動・研修会等	長机(35), いす(105)
和室	50人	創作活動・研修会等	
体育館	220人	スポーツ・レクリエーション等	長机(35), いす(220)
天体観察室	30人	天体観察	200mmクーデ式望遠鏡
食堂	90人	食事	テーブル(15), いす(90)
浴場(男女別)	各14人	入浴, シャワー	浴槽(各1), シャワー(各7)

イ 宿泊施設等 (定員 184人)

B棟				A棟			
1F		2F		1F		2F	
部屋名	定員	部屋名	定員	部屋名	定員	部屋名	定員
リーダー	2	リーダー	2	リーダー	2	リーダー	2
はいびすかす	8	るりかけす	8	そてつ	8	スピカ	8
ふよう	8	あかひげ	8	あだん	8	ペガサス	8
ぎいま	8	あかしょうびん	8	ばんじろう	8	カノープス	8
しゃりんばい	8	おおあかげら	8	ばばいや	8	シリウス	8
ぶうげんびれあ	8	からすぼと	8	とけいそう	8	すばる	8
		あまみやましぎ	8			オリオン	8

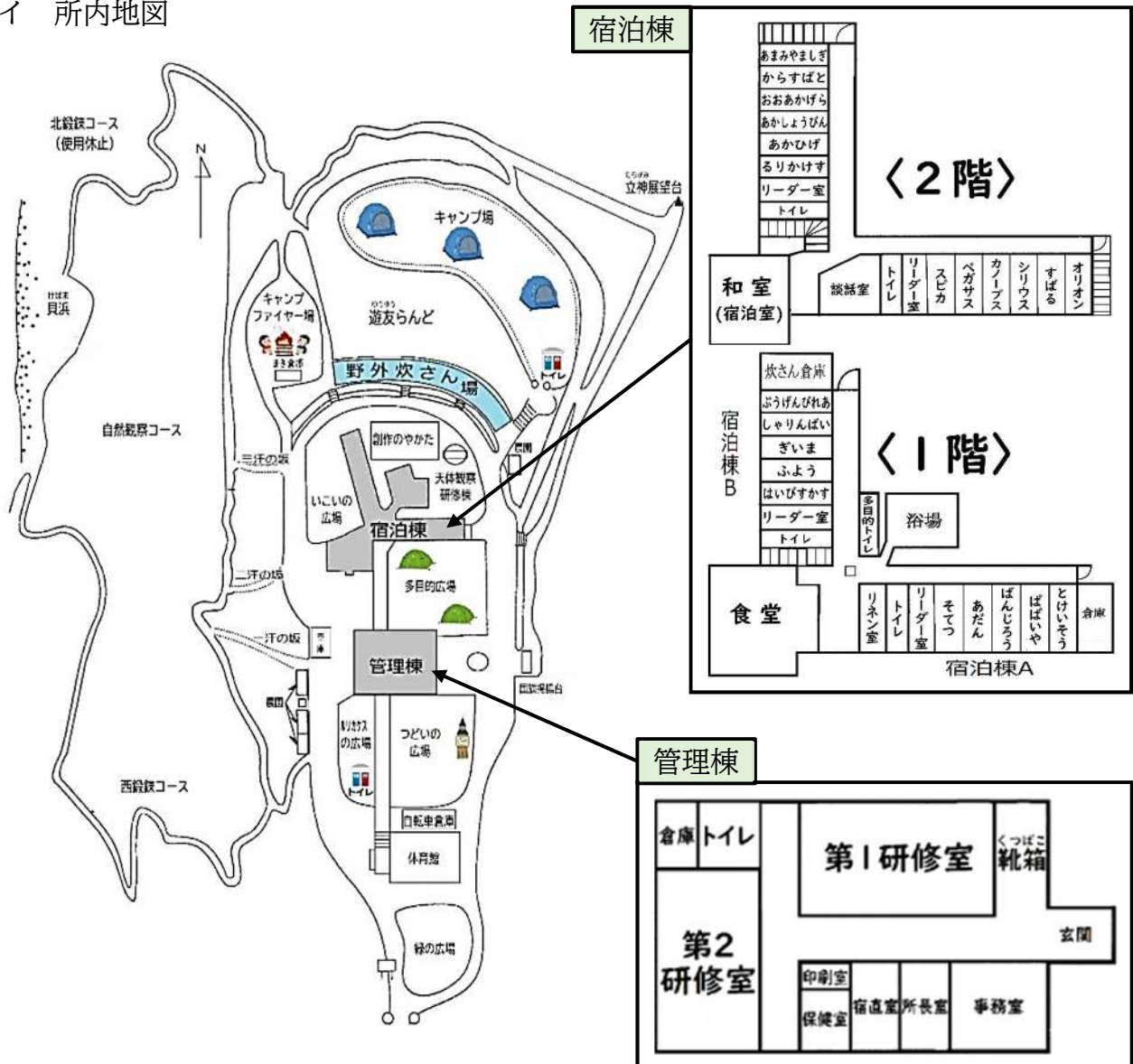
ウ 野外研修施設等

施設名	最大活動人数	用途	備考
創作のやかた	120人	野外炊さん, 創作活動	工作台(10), 水道(4) 長いす(40), 洗い場
野外炊さん場	120人	野外炊さん	かまど(20), 水道(25)
キャンプ場	68人	テント泊	テントサイト(17)
キャンプファイヤー場	120人	キャンプファイヤー	薪倉庫
海洋・海浜研修場	100人	いかだ活動, カヌー・SUP カッター, 海遊び 熱帯魚ウオッチング(現在休止中)	いかだ(4) カヌー(2) カッター(2) ビッグSUP(1)
遊友らんど	100人	遊具遊び(現在休止中)	キュービックブリッジ クライミングネット等
自然観察道	200人	オリエンテーリング, 自然散策 クイズウォークラリー	西鍛錬道, 自然観察道, 汗の坂, 北鍛錬道
各広場	200人	グラウンドゴルフ, ペタンク 自転車モトクロスなど	つどいの広場, 多目的広場 遊びの広場, いこいの広場 ルリカケスの広場, 緑の広場

(2) 施設配置図
ア 周辺見取図



イ 所内地図



(3) 施設紹介



つどいの広場



体育館



リーダー室



研修生宿泊室



食堂



浴室



第1研修室



第2研修室



野外炊さん場



創作のやかた



キャンプファイヤー場



遊友らんど



キャンプ場



海洋・海浜研修場（朝仁海岸／貝浜）



天体観察研修棟



自然観察道

日程計画書 1

団体名	奄美少年自然学校		連絡先	電話番号	0997-53-1032	引率責任者	(職名)	校長	(氏名)	赤崎	台地
				FAX番号	0997-53-0133	連絡責任者	(職名)	教諭	(氏名)	大虎	つぐみ

区分	食事	活動1 (70分)	活動2 (70分)	食事	活動3 (70分)	活動4 (70分)	食事	活動1 (70分)	就寝準備
生活時間	7:40~	9:20~10:30	10:50~12:00	12:00~	13:30~14:40	15:00~16:10	17:30~	19:30~20:30	20:30~
8月 入所・退所時刻等		10:00入所							
月 活動ジャヤナル	朝食	入所・退所	入所・退所	朝食	野外活動	野外活動	夕食	野外活動	班長会
2日 活動プログラムの別	食	研修始めの式、オリエンテーション	研修始めの式、オリエンテーション	食堂利用	テント設置・撤収	野外炊さん	野外炊さん	キャンプファイヤー	実施 (部屋不要)
1日 自主・依頼の別	補充用麦茶	一部依頼	一部依頼	34食	依頼	依頼	34食	一部依頼	宿泊場所
日 グループ数等	補充用麦茶	人	人	補充用麦茶	34人	34人	補充用麦茶	34人	テント泊
目 荒天・雨天時	個			注文する	テント設置・撤収		注文する	灯のつどい	
目 自主・依頼の別				1個	依頼		1個	一部依頼	
8月 入所・退所時刻等									
月 活動ジャヤナル	朝食	野外活動	創作活動	朝食	野外活動	野外活動	夕食	天体に関する活動	班長会
3日 活動プログラムの別	食堂利用	テント設置・撤収	Seaストラップ	食堂利用	オリエンテーション	オリエンテーション	食堂利用	天体観察	実施 (部屋必要)
2日 自主・依頼の別	34食	依頼	依頼	34食	依頼	依頼	34食	依頼	宿泊場所
日 グループ数等	補充用麦茶	34人	人	補充用麦茶	34人	34人	補充用麦茶	34人	宿泊棟泊
目 荒天・雨天時	注文する	テント設置・撤収		注文する	ボッチャ	レクリエーション	注文する	星の話	
目 自主・依頼の別	1個	依頼		1個	依頼	依頼	1個	依頼	
8月 入所・退所時刻等		9:00所出発			16:00帰着				
月 活動ジャヤナル	朝食	その他	その他	朝食	その他	その他	夕食	その他	班長会
4日 活動プログラムの別	食堂利用	所外活動	所外活動	弁当持参	所外活動	所外活動	食堂利用	自主活動	実施 (部屋必要)
3日 自主・依頼の別	34食	自主	自主	34食	自主	自主	34食	自主	宿泊場所
日 グループ数等	補充用麦茶	人	人	補充用麦茶	人	人	補充用麦茶	人	宿泊棟泊
目 荒天・雨天時	注文する			注文しない			注文する		
目 自主・依頼の別	1個			個			1個		
8月 入所・退所時刻等		10:00退所							
月 活動ジャヤナル	朝食	入所・退所		朝食			夕食		班長会
5日 活動プログラムの別	食堂利用	研修終わりの式							
4日 自主・依頼の別	34食	一部依頼		食			食		宿泊場所
日 グループ数等	補充用麦茶	人	人	補充用麦茶	人	人	補充用麦茶	人	
目 荒天・雨天時	注文しない								
目 自主・依頼の別	個			個			個		

○ 利用者数 (全利用者の人数を書いて下さい。)

区分	小学生		中学生		高校生		大学生・高専		各種学校		勤労青年		成人一般		高齢者		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
日帰り																	
宿泊	15	15											2	2			17
計	30												4				34

- 1 入所予定時刻と退所予定時刻を記載してください。
- 2 自主 (自主活動の場合) か依頼 (本所職員に指導を依頼する) の区別を必ず入力してください。
- 3 荒天・雨天時の活動も入力してください。
- 4 食事の注文は、注文数まで入力してください。
- 5 麦茶の注文は、水筒補充用 (15L) になります。必要な場合は個数入力してください。
- 6 左の「利用者数」も入力してください。(宿泊の場合は宿泊室やテントの割り振りがありませんので男女別に入力してください。)

記入例

令和 6年 ○月 ×日

鹿児島県教育委員会 殿

申請者	所在地	奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2
	名称	奄美少年自然の家学校
	職・氏名	校長・朝仁 海

下記のとおり奄美少年自然の家を使用したいので許可くださるよう申請します。

記

名称	奄美少年自然の家学校		所在地	奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2				
				郵便番号	894-0043	電話番号	0997-53-1032	
申請者の 職・氏名	職	校長	氏名	朝仁 海				
				住所	奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2			
引率責任者の 職・氏名	職	教頭	氏名		赤崎 台地			
				奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2				
研修会名	集団宿泊学習							
研修目的	<p>豊かな自然の中で、奄美特有の様々な体験活動を通して、自立に向けた心構えに気づくことができるようにする。 集団生活での体験活動を通して、協働しながら不便な生活を乗り越えることで、あらゆる他者を価値ある存在としてよりよい人間関係を築くことができるようにする。</p>							
参加人員	勤 労 青 年		小 学 生	30人	中 学 生			
	高 校 生		高 専 ・ 大 学 生		成 人 一 般		4人	
	幼 児		そ の 他		計		34人	
入所日時	第1希望	4月1日10時00分	第2希望	月 日 時 分	参加人員 (宿泊を伴う場合に記入)	男	女	計
退所日時	希望	4月3日10時00分	希望	月 日 時 分		17人	17人	34人
研修日時	別紙(日程計画書のとおり)							
その他 伝達事項								

注 日程計画書及び利用者名簿を添付すること。

奄美少年自然の家使用許可書

記入例

鹿教委指令第 号

指令先	所在地	奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2
	名称	奄美少年自然の家学校
	職氏名	校長 ・ 朝仁 海

下記のとおり奄美少年自然の家の使用を許可する。

令和 年 月 日

鹿児島県立奄美少年自然の家所長

記

名称	奄美少年自然の家学校				所在地	奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2				
						郵便番号	894-0043	電話番号	0997-53-1032	
申請者の 職氏名	職氏名	校長 朝仁 海			住所	奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2				
引率責任者の 職氏名	職氏名	教頭 赤崎 台地				奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2				
研修会名	集団宿泊学習									
研 修 目 的	<p>豊かな自然の中で、奄美特有の様々な体験活動を通して、自立に向けた心構えに気づくことができるようにする。</p> <p>集団生活での体験活動を通して、協働しながら不便な生活を乗り越えることで、あらゆる他者を価値ある存在としてよりよい人間関係を築くことができるようにする。</p>									
参 加 員	勤 労 青 年				小 学 生	30人		中 学 生		
	高 校 生				高 専 ・ 大 学 生			成 人 一 般	4人	
	幼 児				そ の 他			計	34人	
参加人員 <small>(宿泊を伴う場合)</small>	男	女	計	入所日時	4 月	1 日	10 時	00 分		
	17人	17人	34人	退所日時	4 月	3 日	10 時	00 分		
研修日時	別紙(日程計画書のとおり)									
使用料	※ 円									
許可条件	令和6年度「利用の手引き」に記載された内容に基づいて当所を利用すること。									

注 入所の際受付に提示すること。

使用料免除(減額)申請書

記入例

令和 6 年 〇 月 × 日

鹿児島県教育委員会 殿

申請者 所在地 奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2
 名称 奄美少年自然の家学校
 職氏名 校長 朝仁 海

下記について、鹿児島県青少年社会教育施設の設置及び管理に関する
 条例第8条の規定により、使用料を 免除 ・ 減額 くださるよう必要な
 書類を添えて申請します。

記

名称	奄美少年自然の家学校		所在地	奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2					
			郵便番号	894-0043	電話番号	0997-53-1032			
申請者の職氏名	職氏名	校長	朝仁 海	住所	奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2				
引率責任者の職氏名	職氏名	教頭	赤崎 台地		奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2				
研修会名	集団宿泊学習								
研 修 目	豊かな自然の中で、奄美特有の様々な体験活動を通して、自立に向けた心構えに気づくことができるようにする。 集団生活での体験活動を通して、協働しながら不便な生活を乗り越えることで、あらゆる他者を価値ある存在としてよりよい人間関係を築くことができるようにする。								
参 加 員	勤 労 青 年	小 学 生	30人	中 学 生					
	高 校 生	高 専 ・ 大 学 生		成 人 一 般	4人				
	幼 児	そ の 他		計	34人				
入 所 日 時	第 1 希 望	4 月 1 日 10 時 00 分	第 2 希 望	月 日 時 分	参加人員 (講師を含む)	男	女	計	
退 所 日 時	第 1 希 望	4 月 3 月 10 時 00 分	第 2 希 望	月 日 時 分		17人	17人	34人	
免除(減額)を受ける理由	※ 使用規定第5条第1項第 号による				免除前 使用料	※ 円			
使用料免除 (減額)の 見 込 額	研修施設	210 円/人 ×	人 ×	100/100 =	円				
		210 円/人 ×	人 ×	50/100 =	円				
	宿泊棟	1,120 円/人 ×	泊 ×	人 ×	100/100 =	円			
		1,120 円/人 ×	泊 ×	人 ×	50/100 =	円			
キャンプ場	350 円/人 ×	泊 ×	人 ×	100/100 =	円				
	350 円/人 ×	泊 ×	人 ×	50/100 =	円				
					計	円			
免除(減額)決定額	※ 円				研修団体が納入すべき使用料	※ 円			

注 ※印は記入不要

利用者名簿

No.1

記入例

- 注 1 使用許可申請書と同時に提出してください。
 2 引率者名もご記入ください。「学年等」の欄は年齢・職名可
 3 性別欄は、宿泊時のみご記入ください。
 4 備考欄は、食物以外のアレルギー等、配慮の必要な事項等についてご記入ください。
 5 下記の内容が分かれば学級名簿等でもかまいません。

団体名	奄美少年自然の家学校	連絡責任者・連絡先	大虎 つぐみ	0997-53-1032
-----	------------	-----------	--------	--------------

番号	氏名	性別	学年等	備考(配慮の必要な事項等)
1	奄美 蘭	男	5年	
2	名瀬 赤木	男	5年	
3	大和 葵	女	5年	
4	宇検 百合	女	5年	
5	瀬戸内 芙蓉	男	5年	
6	龍郷 すみれ	女	5年	
7	朝仁 海人	男	5年	ぜんそく(吸入器持参・夕食時薬服用)
8	小浜 空未	女	5年	
9	大熊 守	男	5年	
10	大畑 太陽	女	5年	
11	磯野 カツオ	男	5年	アレルギー性鼻炎(内服薬持参)
12	花沢 花子	女	5年	
13	中島 弘	男	5年	
14	大空 かおり	女	5年	
15	橋本 とおる	男	5年	
16	西原 卓磨	男	5年	
17	黒井 ヒトミ	女	5年	
18	石田 公一	男	5年	
19	塩田 スズコ	女	5年	
20	大島 みゆき	女	5年	
21	望月 ゆうた	男	5年	足の骨折松葉杖で参加
22	杉下 右京	男	5年	衝動的に行動することがある。
23	社 美彌子	女	5年	
24	片山 雛子	女	5年	
25	月本 幸子	女	5年	
26	小松 真琴	男	5年	
27	市原 里奈	女	5年	
28	角田 六郎	男	5年	
29	倉本 美奈子	女	5年	
30	亀山 美和子	女	5年	
31	赤崎 台地	男	教頭	
32	大虎 つぐみ	女	教諭	
33	風間 楓子	女	教諭	
34	小出 菜梨	女	養護教諭	
35				
36				
37				
38				
39				
40				

食物アレルギー調査票

No. 1

研修期間	令和 6 年 〇 月 〇 日 ~ 〇 月 〇 日	(2 泊 3 日)
団体名	奄美少年自然の家学校	連絡先 0997-53-1032

記入例

該当者なし

- 1 使用許可申請書(1号様式)と一緒に該当者がいない場合も提出してください。
- 2 該当者がいない場合は、「該当者なし」の欄に〇を入力してください。
- 3 「好き嫌い」は対象外です。アレルギー表示対象28品目を中心にお書きください。

利用者名簿 番号	氏名	医師の診断	エピペンの所持	一つの欄に一つずつ アレルギー品目を 具体的に記載してください。 ※右の【アレルギー表示対象28品目】 を御参照ください。	アレルギーの程度				特記事項										
					全く食べられない	条件によっては食べられる				特記事項									
						調理油 分ける	加工ス 工キス	つなぎ程度なら可			自分で取り除けば可	加熱してあれば可							
1-3	大和 葵	○	×	卵															(アナフィラキシーなど、 摂取時に現れる症状等)
1-7	朝仁 海人	○	○	えび	○														半熟では食べられない。じん麻疹。 じん麻疹・量によっては呼吸困難。 じん麻疹・量によっては呼吸困難。
				カシューナッツ	○														
No.1-25	奄少 一郎	○	○	牛肉															発熱・発疹
No.4-2	奄少 海美	○	○	えび	○														詳細を別途相談したい
	//	○	○	卵															じんましん・量によっては呼吸困難

※ 一人の研修生について、該当する品目が複数ある場合は、品目ごとにそれぞれ記載してください。

野外炊さん班編成表

記入例

- ※ 野外炊さんを実施する団体のみ提出してください。
- ※ 1班を5～10人で編成してください。
- ※ 原則12班以内で編成してください。

団体名	奄美少年自然の家学校		
実施日	○ 月 △ 日	夕食	

番号	班名	人数			各系の活動内容 (班ごとに3つの係を決めてください)
		研修生	引率者	計	
1	Aグループ	7	1	8	食器係 1 食器や調理器具などを準備する。 2 羽釜や鍋，食器，調理器具などを洗い，調理係に渡す。 ※ 調理用具は除菌する。 3 食事後，食器や調理器具などをきれいに洗い，職員の点検を受ける。
2	Bグループ	8	1	9	
3	Cグループ	7	1	8	
4	Dグループ	8	1	9	
5					調理係 1 食堂に食材を取りに行く。 2 米をとぐ。 3 食材を洗ったり，切ったりして下ごしらえをする。 4 食事後，食器係と一緒に食器や調理器具器具をきれいに洗う。 5 流し場の後始末とごみの処理をする。
6					
7					
8					
9					
10					かまど係 1 薪倉庫に薪を取りに行く。 2 かまどの火をおこす。 3 食器係や調理係と協力して米を炊き，おかずを作る。 ※ 火の調整をする。 4 残った薪を薪倉庫に戻す。 5 かまど周辺を掃除する。 ※ かまどに直接水をかけない。 ※ 残り火の処理は，自然の家職員が行う。
11					
12					
13					
14					
合計		30	4	34	

各種つどいの係名簿

団体名 ()

※ 提出する必要はありません。係分担の参考としてお使いください。

	係名	氏名	備考		
研修始めの式 (月日)	進行		原則として引率者		
	団体代表あいさつ	研修生引率者	研修の目的に沿ったあいさつをお願いします。		
研修終わりの式 (月日)	進行		原則として引率者		
	団体代表あいさつ	研修生引率者	研修の成果や感想、今後の取組などについて、あいさつをお願いします。		
夕べのつどい (月日)	進行		引率者または研修生		
	旗係(降納)	1		※ 研修生	
		2			
		3			
		4			※ 複数団体の場合は分担
		5			
	6				
生活や活動内容についての感想発表		研修生			

※ 複数校合同の場合、感想発表は、各校代表1名でお願いします。

	係名	氏名	備考		
朝のつどい (月日)	進行		引率者または研修生		
	旗係(掲揚)	1		※ 研修生	
		2			
		3			
		4			※ 複数団体の場合は分担
		5			
	6				
団体紹介(複数団体の場合)		引率者または研修生			
キャンプファイヤー・灯のつどい (月日)	営火長		原則として引率者		
	親火		引率者または研修生		
	子火	1		研修生	
		2			
		3			
	4				
進行		原則として引率者			

※ キャンプファイヤー・灯のつどいを複数団体で実施する場合、各係を分担します。

○ 講師派遣について

出前講座等における当所の職員の講師派遣にあたっては、講師依頼書が必要です。
様式は当所ホームページよりダウンロードし、下記の記入例を参考に、作成してください。
開催要項などの資料がありましたら、講師依頼書と一緒に提出してください。
必要書類は、郵送もしくはメールで提出してください。

- ※ 依頼書は開催日の 30 日前までに提出してください。
- ※ 講師派遣については、旅費（交通費として一人 200 円）が必要です。
- ※ 詳細については、直接、電話でお問い合わせください。

講 師 依 頼 書		記入例
会 合 名	〇〇立大島小学校 家庭教育学級「七宝焼教室」	
日 時	令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 (○) 午前・ 午後 2 時 0 0 分 ~ 午前・ 午後 3 時 3 0 分	
会 場	〇〇立大島小学校 体育館	
対象・参加人数	幼児 人, 小学生 1 0 人, 中学生 人, 高校生 人 大学生 人, 一般 2 0 人, 計 3 0 人	
日 程 の 概 要	14:00~14:05 はじめのことば・講師紹介(学級長) 14:05~14:15 作り方の説明・注意事項など 14:15~15:15 創作活動 15:15~15:25 作品鑑賞・後始末 15:25~15:30 おわりのことば(学校長)	
講 師 へ の 要 望	七宝焼制作を通して、親子で物作りの楽しさを味わえるよう、説明や製作指導をお願いしたい。	
会 場 へ の 経 路	奄美少年自然の家→大島小学校→奄美少年自然の家	
旅 費 負 担 区 分	原則として依頼者負担 ()	
依 頼 者 連 絡 先	[住所] 〒 894-0043 奄美市名瀬朝仁字赤崎 1096-2 TEL 0997-53-1032 [担当者] 教諭 赤崎 大地	
上記のとおり依頼します。		
令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 [依頼者] 学校・団体名等 ○〇立大島小学校 代表者 職 名 学級長 氏 名 ○ ○ ○ ○		
鹿児島県立奄美少年自然の家所長殿		研修主体により異なります。 分からない場合は、事前に御相談ください。

鹿児島県立奄美少年自然の家使用規程

(趣 旨)

第1条 この規程は鹿児島県立奄美少年自然の家の規則(昭和54年教育委員会規則6号)に基づき、鹿児島県立奄美少年自然の家(以下「奄美少年自然の家」という。)の使用について、必要な事項を定めるものとする。

(使用者の範囲)

第2条 奄美少年自然の家を使用できる者は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 児童、生徒及び学生
- (2) 勤労青少年(中学校卒業からおおむね25歳までのもの)
- (3) 青少年育成関係者
- (4) 前各号に掲げる者のほか、特に必要と認めたる者

2 前項各号に掲げる者で、鹿児島県青少年社会教育施設の設置及び管理に関する条例(昭和45年鹿児島県条例第30号)第3条第2号に規定する自主的な研修活動のために使用しようとする場合は、原則5人以上の団体で、かつ研修計画をもつものとする。ただし、所属長が認める場合は、その限りではない。

(使用の許可等)

第3条 奄美少年自然の家を使用しようとする者は、鹿児島県教育委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた者が当該許可の内容を変更しようとするときも同様とする。

2 教育委員会は、奄美少年自然の家の管理上必要と認めるときは、前項の許可に(以下「使用許可」という)に条件を付すことができる。

3 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用許可を与えないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 施設を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 特定の政党又は、その他政治活動を支持し、若しくは反対するために使用しようとするとき。
- (4) 特定の宗教又は、その他宗教活動を支持し、若しくは反対するために使用しようとするとき。
- (5) もっぱら営利を目的として使用しようとするとき。
- (6) 前各号に掲げる場合のほか施設の管理上特に支障があると認められるとき。

(使用許可の取消し等)

第4条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めた場合は、使用の許可を取消し、若しくは停止し、又は退去を命ずることができる。

- (1) 使用者が使用許可の内容又は使用許可に付された条件に違反したとき。
- (2) この規程又はこの規程に基づく定めに違反したとき。
- (3) 使用者が不正の手段によって使用許可を受けたとき。
- (4) 前各号に掲げる場合のほか、施設の管理上特に支障があると認めるとき。

(使用料の減免)

第5条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めた場合は、使用料を免除し、又は減額することができる。

- (1) 障害者基本法に規定する障害者及びその介護者
- (2) 県内に設置されている小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校が主催する研修の引率者
- (3) 県が主催する事業に参加する者
- (4) 前各号に掲げる者のほか、特に適当と認めるもの

(協議等)

第6条 この規程に定めるものについて、その取扱いに疑義が生じた場合には、社会教育課長に協議するものとする。

2 この規程に定めるもののほか、奄美少年自然の家の施設に使用に際し、必要な事項については、社会教育課長と協議の上、別に定める。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

この規程は、平成25年3月1日から一部改正する。

この規程は、令和2年4月1日から一部改正する。

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

この規程は、令和5年10月1日から施行する。



鹿児島県立奄美少年自然の家

希望・友愛・躍動



奄美の豊かな自然の中で様々な体験活動を



野外活動



海洋・海浜活動



ニュースポーツ



天体に関する活動



創作活動

利用の目的

- 1 PTAや家庭教育学級等
家族のふれあいや保護者間の交流、会員の学び
- 2 学校教育活動
集団宿泊学習や遠足、教科学習や総合的な学習の時間
- 3 職員研修等
体験活動の重要性の理解や指導力向上
- 4 子ども会活動や地域活動
異年齢集団活動や自然体験活動の充実



家庭教育学級

利用の方法

- 1 自然の家に出かけて
季節ごとの自然散策や創作体験活動 など
- 2 自然の家の職員を呼んで(講師派遣申請)
天体観察、創作活動、黒糖作り体験 など
- 3 自然の家へ電話で相談
自然体験・創作体験活動等の計画立案に関する相談など



教職員講座

活動プログラム例

- 1 野外活動
テント設営、野外炊さん、キャンプファイヤー
オリエンテーリング、自然観察等
- 2 海洋・海浜活動
カッター、いかだ活動、カヌー、海遊び等
- 3 ニュースポーツ
グラウンドゴルフ、ピロポロ、インディアカ
キンボールスポーツ、ペタンク、ポッチャ 等
- 4 天体に関する活動
天体観察、太陽観察
- 5 創作活動
紬クラフト、なりキーホルダー、サンゴクラフト
藍染め、焼き板、折り染めうちわ、フォトフレーム等
- 6 室内活動
レクリエーション、灯のつどい、屋内スポーツ等

利用までの流れ

まずはお電話ください

空き状況の確認



30日前までに利用日、
日程等の確認



事前の打合せ



活動内容・配慮事項等
打合せ

書類の作成・提出



15日前までに
必要書類を提出



利用当日



活動の様子は、県のホームページや奄美少年自然の家公式Instagramでも御覧いただけます。



県ホームページ

〒894-0043

鹿児島県奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2

【TEL】 0997-53-1032

【FAX】 0997-53-1033

【メール】 amasyou@pref.kagoshima.lg.jp

【URL】 <http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/amami/index.html>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/kagoamasyo>



KAGOAMASYO
公式Instagram

交通案内

	【航空路】 奄美大島まで	【航路】 名瀬港まで
鹿児島から	1 時間	11 時間
喜界島から	15 分	2 時間 30 分
徳之島から	30 分	2 時間 30 分
沖永良部島から(徳之島経由)	1 時間 25 分	5 時間 50 分
与論島から(沖縄経由便)	2 時間 20 分	7 時間 50 分
東京から(成田・羽田)	2 時間	※ 時間は、おおよその時間 です。 詳しくは旅行会社等から ご確認ください。
大阪から(関空・伊丹)	1 時間 30 分	
福岡から	1 時間 15 分	
沖縄から	1 時間	

- 奄美空港から奄美市名瀬市街地までは路線バスで 60 分かかります。
- 奄美市名瀬市街地から奄美少年自然の家まで(約 4.5km)及び名瀬港から奄美少年自然の家まで(約 3.5km)はバスの定期路線はありません。車(10 分程度)か徒歩(50 分程度)でお越しください。

